

現在、29カ国の学習者と交流しています。

市岡国際教育協会・日本語教室は、大阪府立市岡高校定時制の閉鎖を受けて、働きながら学ぶ「定時制の灯」を消したくないと定時制の同窓会が中心となり 1996年5月にスタートしました。現在はNPO市岡国際教育協会が運営し、市岡高校同窓会に後援して頂いております。

URL: <http://ichioka-nihongo.org/>

Ichika 会報

2008/3
第40号

発行人/市岡国際教育協会理事長 吉田徳夫 /編集/広報係 大阪市港区市岡元町 2-12-12 TEL/FAX: 06-6582-0348

特定非営利活動法人
市岡国際教育協会 日本語教室

- 場所 大阪府立市岡高校同窓会館
- 日時 金曜日午後7時から約2時間
- ボランティア参加費
入会金 1,000円
年会費 3,000円
- 学習者は無料



ワンワールドフェスティバル

2月2日(土)、3日(日)の2日間、上六の国際交流センターで恒例のワンワールドフェスティバルが開かれました。関西ではもっとも大規模で参加者の多い国際交流関連のイベントの一つです。市岡日本語教室も、教務班の丸山さんのフェアトレードコーナーのお店「halqa」と共同の出店をするようになって、3回目か4回目になります。今年、市岡としては、香港風マンゴープリンと韓国風チヂミの模擬店を出しました。2日間とも寒く、また、日曜日は一日中雨降りでしたが、予想以上の人たちが訪れてくれました。また、お手伝いも例年以上にたくさんの方に来ていただきました。

今年からは、ステージの部にも参加しました。この手のイベントには欠かせないサイハンさん、ナランフさんの姉妹が、内モンゴルの民族音楽で参加してくれました。いつもかわらぬ美しい歌声を聞かせてもらいました。

模擬店を手伝ってくださった片山さんの感想を掲載します。

「ワンワールドフェスティバルに参加して」

片山俊子

この度始めてブースのお手伝いをさせていただきました。

一時間程で開店の準備が出来ました。二日目は、朝から雨が降り、とても寒く、売れ残らない様にとの気持ちから、スタッフが背中に看板を背負ったり、大声で呼び込んだりと必死でした。

販売品目は、チヂミ、マンゴープリン、コーヒーの三種類でしたが、それぞれを札葉さん、大城さん、丸山さんが担当しました。プリンは夜を徹して作ったそうです。

売れる商品を三人で作ったことも大変な作業ですが、参加して感じた事は、皆がボランティア精神に徹していた事で、成就したのだと思った次第です。



☆ボランティア・リレー・エッセイ☆

「日本語を教えるって？」 男谷倫子

こんにちは。7班の男谷です。私が市岡日本語教室に参加したのは、仕事とは関係なく、何か全く違うことがしたかったからです。そして、退職後には絶対やりたいなと思っていた日本語教室での活動ができる場所を探していたところ、通いやすい市岡高校を見つけて参加し、あっという間に2年が過ぎました。留学生が多いのかなと思っていたら、研修生の方が多くて驚きました。働きながら勉強している姿は、私に、だから過ぎなさいいけないぞー。がんばらなさいいけないぞー。と多くの事を教えてくれています。まるで私が学びに来ているかのようです。

私は十数年前に転職をした際、3ヶ月程の休暇をとることが出来ました。さて、何をしようかというかな、と考えた結果、アメリカの大学内にあるイングリッシュスクールの1学期間だけですが通おうと決めました。そのクラスに通ったことで、私は初めて外国人にその国の言語を教えるという事について考えることが出来ました。3名の先生がいたのですが、本を読んで理解しているかどうかその内容を絵に描かせたり、5分間何かについては様々な方法で教えていました。いいなと思える授業もあれば、もう受けたくないなと思う授業もありました。生徒の中には環境やその授業に馴染めず欠席を続け部屋にこもってしまった人がいて、教え方も大切ではありませんが、外国で暮らしている学習者のメンタルな部分を安定させてあげる事も大切だなと思いました。そして、出来るだけ楽しく学ぶことが出来る

ような環境作りも必要だと感じました。市岡日本語教室では遠足などの課外活動が行われているし、ボランティアと学習者とのコミュニケーションもとれている方が大半のようで学ぶ環境はいいと思います。

7班は受験対策班でもあるので、教えるという点に重点を置いていた班です。ボランティアの方々がいて、その方々の教え方や、教えることに対する姿勢なども私にとっては大変勉強になっています。7班以外の方も教室は離れていますが時間があつたら見に来てください。学習者もボランティアも有意義な時間を今以上に過ごせるような、そんな教室になるよう新学期から新たに頑張りたいと思います。

《ますます好評!!》 ジャックの

玩菓

ジャック製菓株式会社

代表取締役 中野 幹

大阪府東大阪市永和3丁目1-26
TEL: 06-6721-0269; 5153番
FAX: 06-6721-0467番

10円100付
ヤッター!めん
(金券入り)

居酒屋 なかもと

味も量も大満足! これだけ食べても、この値段...? 安さを追求。
大阪庶民に愛され、食事もできる居酒屋です。

06-6583-1802
営業 11:30AM~10:20PM 休み 日・祝祭日

サポーター会員の皆様 謝謝!

前号以降に入会いただいたり、前号でご紹介できなかったサポーター会員の方々を御紹介いたします。(順不同・敬称略)

山本千鶴、山本将行、酒井勝利、市川暉子、小藤すみ子、新谷克子、打田照子、井上 章、大西照子、岸 千東、宮迫智子、宮本みち子、新妻ヒデ子、安発紀代子、北村幸代、木邨広志、三上恵司、知念光子、山戸百合子、鴻原吉美、市川あや子、木本幸恵、舟本よしえ、今村たみ子、北岡和子、岩本嘉介、糸川重子、岩本真澄、岩本良美、西尾桂子、株式会社クボタ、他、大勢の匿名の皆様。ありがとうございました。